

2026年度 第3次袋井市総合計画に基づく政策評価制度策定支援業務
公募型プロポーザルに係る質問に対する回答一覧

No	該当書類箇所	質問	回答
1	仕様書2（1）業務の目的	「より効果的な評価制度に改定することを目的に」とありますが、想定されている改定・運用の年度・時期があればご教示ください。	2026年度中に制度設計を行い、2027年度からの運用開始を目指しています。
2	仕様書4（1）第3次袋井市総合計画について	仕様書P2「行政経営方針」とありますが、これは基本計画に記載されている「基盤 行政経営方針」のようですが、施政方針との関係はどのようなものでしょうか。 自治体では毎年予算編成方針を含む「行政経営方針」を示す自治体がありますが、それとは違うものでしょうか。	第3次袋井市総合計画に定められた「行政経営方針」は、総合計画の目標達成に向けた行政運営の基本方針です。 一方で「施政方針」は、翌年度の市政運営に向けた市長の考えや方向性、主要施策、予算概要、組織改編を示すものであり、総合計画に定めた「行政経営方針」とは位置づけが異なります。
3	仕様書4（1）第3次袋井市総合計画について	仕様書P2「行政経営方針」の実効性を高めるものが「行政経営アクションプラン」であるということですが、行政経営アクションプランと政策評価の関係はどういったものですか。どのように連携・連動しているのでしょうか。	「行政経営アクションプラン」は、第3次袋井市総合計画に定められた「行政経営方針」の実効性を高めるために、重点的に行うべき取組の具体的な内容や目標等を別途定め、進行管理するものです。また、政策評価との具体的な連動については、評価制度の検討の中で整理していく予定です。
4	仕様書4（2）政策評価について	「第2次袋井市総合計画後期基本計画に係る政策評価について（令和6年度実績）」P7「4. 政策の評価方法」P24～、「Ⅲ取組実現のための主な事業」として、事業ごとに一覧が記載されております。「今後の予算の方向性」で「維持」「縮小」といった結論が出ておりますが、庁内で誰によるどのような検討・議論が行われた結果なのでしょうか。	現行の政策評価における事業ごとの「今後の予算の方向性」については、庁内合意を図ったものではなく、担当課の自己評価によるものです。

No	該当書類箇所	質問	回答
5	仕様書5（2）評価制度の策定に向けた基礎調査	「政策ごとに注視すべき国・県等の統計情報や調査報告書などの項目を整理する」とありますが、関連する統計・報告書は多岐にわたるため、本業務において整理することを想定されている対象・範囲について、具体的な指標や情報の粒度（統計・報告書の名称、指標名、更新頻度、入手方法等）があればご教示ください。	政策ごとの特性に応じて、本市の現状を客観的に把握することができ、社会情勢の変化や将来予測に資する情報、また他自治体との比較に足る公開性の高い統計情報や調査報告書を想定しています。
6	仕様書5（3）市民意識調査の留意点と分析手法	成果品として「市民意識調査設計書」を作成することとされていますが、同設計書には、調査目的、対象、抽出方法、実施方法、分析手法等に加え、市民意識調査の具体的な設問文及び選択肢まで記載することが求められるでしょうか。 また、令和7年度の市民意識調査票を基礎として、設問文及び選択肢の見直しを行うことを想定されているでしょうか。それとも、設問文及び選択肢は原則として現行の内容を維持し、調査実施上の留意点及び分析手法の設計を主な業務範囲とする理解でよいでしょうか。	本業務における市民意識調査については、第3次袋井市総合計画に定めた「政策指標（27問）」に関するアンケート調査となるため、具体的な設問文及び選択肢については既に決定しており、計画期間中は変更しません（令和7年度市民意識調査とは内容が異なります）。 本業務では、政策指標として主観的なアンケートの結果を総合計画の進捗評価に用いることを踏まえた上で、調査上の留意点をはじめ、効果的な調査手法や分析手法等を設計していただくことを想定しています。
7	仕様書5（4）ア 評価手法（ロジック）の構築・提案	仕様書P4「点数化やランク付けのロジック」に関して、「第2次袋井市総合計画後期基本計画に係る政策評価について（令和6年度実績）」P7「4. 政策の評価方法」において、政策の評価点数が高い場合、低い場合、実務上どのようなことが行われるのでしょうか。評価点数は何に活用されるのでしょうか。	評価点数については、政策・取組の現状を客観的に把握し、達成度や課題を明確化するために活用しています。現状、評価点数の評価以外への活用や、点数の高低に基づく実務的な対応は行っておりません。
8	仕様書5（4）ア 評価手法（ロジック）の構築・提案	定性的な要因を加味できるロジックの検討とありますが、例として挙げられている「改善のプロセス」とは具体的にどのようなことを意味するのでしょうか。何の改善のプロセスを指しているのでしょうか。	「改善のプロセス」とは、各政策・取組の目標達成に向けて、課題に対する改善努力、施策の試行錯誤、新たな手法の導入など、数値目標の達成度だけでは測れない定性的な進捗や取組姿勢を評価する観点を意図しています。

No	該当書類箇所	質問	回答
9	仕様書5（4）イ 取組指標（各担当課指標）の管理方法の構築・提案	仕様書P4「イ 取組指標（各担当課指標）の管理方法の構築・提案」について質問です。「取組指標」や個別計画の指標について、進捗状況の管理、データの収集・集計、共有を効率的かつ確実にを行う」との記述がありますが、現状どのようなデータの保有・収集・集計・管理を行っているのでしょうか？ 具体的に教えてください。	現行では、各担当課が個々に指標を管理しており、総合計画に定められた指標については評価時期に集約する形で運用しています（個別計画の指標については、収集していませんが、総合計画の指標として収集している指標もあります。）。 また、指標を管理するためのシステムを導入しておらず、主にExcelなど表計算ソフトを用いて管理していますが、多種多様な指標のデータ収集や集計が非効率であることに加え、整合性の確保が図れないことや、管理体制が属人化していることなどの課題があります。
10	仕様書5（4）イ 取組指標（各担当課指標）の管理方法の構築・提案	現行では、取組指標をどのような様式・ツール及び運用体制で収集・更新・確認しているのでしょうか。また、現行の指標管理において、市として認識されている課題や問題点があればご教示ください。	No9の回答と同様です。
11	仕様書5（4）ウ 評価書フォーマットの作成	現行の評価書フォーマットは、情報の整理や見せ方について一定の工夫がなされているものと認識しております。新たなフォーマットを作成するに当たり、現行フォーマットについて、市として特に改善が必要と考えている点（記載項目、情報量、視認性、作成負担、評価結果の活用等）があればご教示ください。	特に改善が必要と考えている点として、第3次袋井市総合計画が市民の「実感」を重視していることを踏まえ、客観的な見やすさ・分かりやすさ、ロジックの明快さなどが挙げられます。また、作成負担の軽減も課題となっており、庁内の類似作業（決算に伴う資料作成）などとの整理も必要であると考えています。
12	仕様書5（4）ウ 評価書フォーマットの作成	「現行の評価書（2025年度版：全84ページ）をベースに検討することを想定」とありますが、「～～をベースに」というのはページ数を概ね同数にするという意味でしょうか。	「ベースに検討」と記載した趣旨として、単にページ数を踏襲するだけではなく、現行評価書の構成要素や記載項目を参考にしつつ、市民にとっての分かりやすさや評価結果の活用促進といった改善点を踏まえ、新たなフォーマットを検討することを意図しております。

No	該当書類箇所	質問	回答
13	仕様書5（4）Ⅰ 行政経営方針の反映と政策改善プロセスの検討	「行政経営方針に掲げる『6つの視点』が各政策に反映されていることを確認する」とありますが、具体的にどのような確認方法及び制度上の位置付けを想定されているでしょうか。特に、以下についてご教示ください。 ・全ての政策すべてについて6つの視点を一律に確認するのか、各政策との関連性を踏まえて、該当する視点を選択して確認するのか。 ・評価書にチェック欄や記述欄を設けるなどの定性的な点検を想定しているのか、政策評価の点数化やランク付けにも反映することを想定しているのか。 ・確認結果について、各政策の評価結果そのものに反映するのか、業務改善や新たな政策立案に向けた論点として、シーズンレビュー等で別途取り扱うことを想定しているのか。	6つの視点については、各政策で一律確認することを想定しています。また、定性的な点検（評価書内での記述など）を基本とし、業務改善や新たな政策立案に向けた論点として、シーズンレビュー等の場で議論し、政策改善プロセスに繋げていきたいと考えています。なお、各政策の評価結果そのものに直接的に点数として反映するかどうかについては、評価制度の検討の中で整理していく予定です。
14	仕様書5（4）Ⅰ 行政経営方針の反映と政策改善プロセスの検討	現行の政策評価や庁内の行政経営において、6つの視点又はこれに類する観点から政策・取組を確認している資料、様式又は運用事例がある場合は、ご提供いただくことは可能でしょうか。	現在、6つの視点に特化して政策・取組を確認している資料等はありません。